

「北の森づくり専門学院」の開校について

1 概要

道内の林業・木材産業の即戦力となり、将来的に企業等の中核となる次代の森林づくりを担う人材を育成するため、「北の森づくり専門学院（略称「北森カレッジ」）」を令和2年4月1日に設置

開校	令和2年（2020年）4月	場所	旭川市（道総研・林産試験場に併設）
運営形態	専修学校（専門学校）	授業料	163,200円（年間）
出願資格	道内林業・木材産業関係企業等への就業を希望する者で、 ○ 高校卒業程度 ○ 入学時に満40歳以下	修学期間	2年間
		学年定員	40名

2 入学生の状況

区分	内 訳
入学者数 34名	・居住地(受験時) 道内：26名 道外8名
	・年 齢 10代：19名、20代：10名、30代：5名
	・性 別 男性：32名、女性：2名
	・経 歴 高校：15名、短大・大学：4名、社会人等15名

3 現況等

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国の緊急事態宣言を踏まえ、4月20日に予定していた「開校・入学式」を中止し、4月21日から5月31日までの間を休業とし、5月18日から分散登校により個別面談などを実施。
- 5月25日の緊急事態宣言の解除や道における緊急事態措置の見直しを受け、26日以降、自宅学習のフォローアップ講習を行うなど分散登校の内容を拡充し、6月1日に全生徒が登校し講義等を開始。

<これまでの対応等>

時 期	対 応 内 容	
4月21日～ 5月17日	<生徒へのサポート> ・悩みや不安に対する「相談窓口」を設置 ・ニーズに応じて来校相談や家庭訪問を実施 ----- <学習支援> ・自宅学習に向けた資料(DVD含む)を送付し、E-mailや電話等による学習支援	<生徒への生活指導> ・不要不急の外出自粛等 ・身体的距離の確保 ・手洗いや咳エチケット、マスク着用等の徹底 ・睡眠や食事など規則正しい生活や毎朝の体調チェックなど健康管理の徹底
5月18日～	<分散登校を実施> ・ガイダンス、個別面談	
5月26日～	<分散登校を拡充> ・フォローアップ講習(自宅学習の補講)	<講義・実習への対応> ・手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策のほか、座席間隔の確保など3つの密を回避する対策を講じ講義等を実施
6月1日～	<講義・実習> ・カリキュラムに基づいた円滑な講義・実習を順次実施 ※6月1日には、入学の歓迎ムードを高めるため、知事やフィンランド大使、地域の関係者からのビデオメッセージの上映等を実施。	・夏季、冬季休業の短縮や特別講義の中止など、授業時数の確保に向けたカリキュラムの見直し

<行事、講義等の状況>



【6/1 知事ビデオメッセージ上映】



【6/2 講義】



【6/10 伐木等の業務に係る特別教育(チェーンソー)】



【7/3 不整地運搬車運転技能講習】



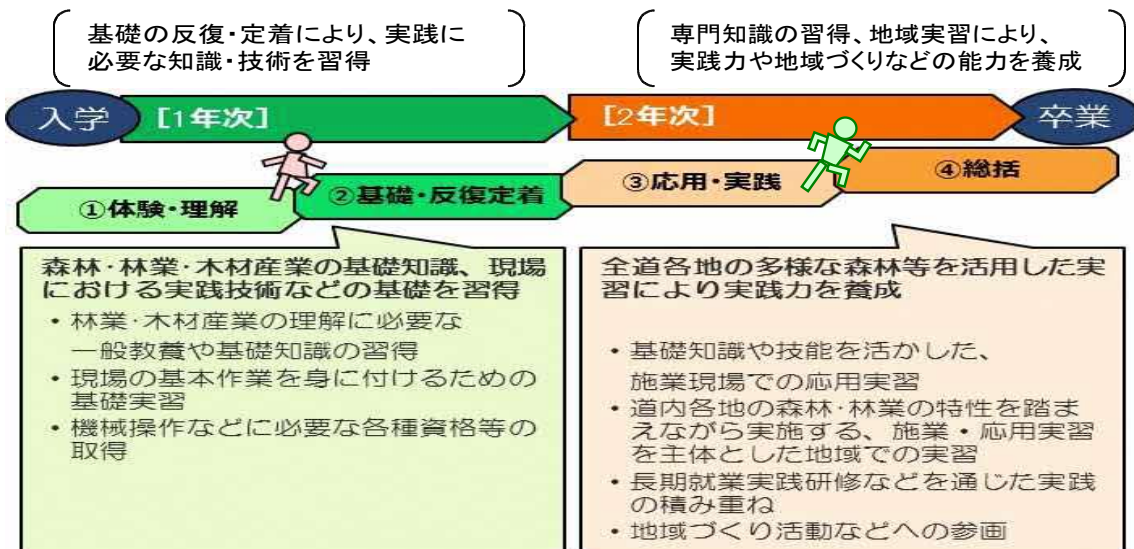
【7/10 刈払作業実習】



【シミュレーター操作状況】

4 カリキュラムの特徴

全道各地の林業・木材産業について学ぶ講義や、多様なフィールドを活用した実習を組み合わせ、基礎的・専門的な知識から実践的な技術まで段階的かつ体系的に習得。

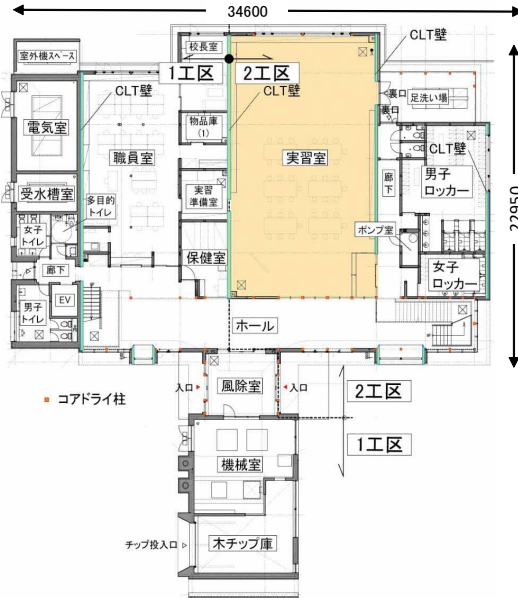


5 新校舎の整備

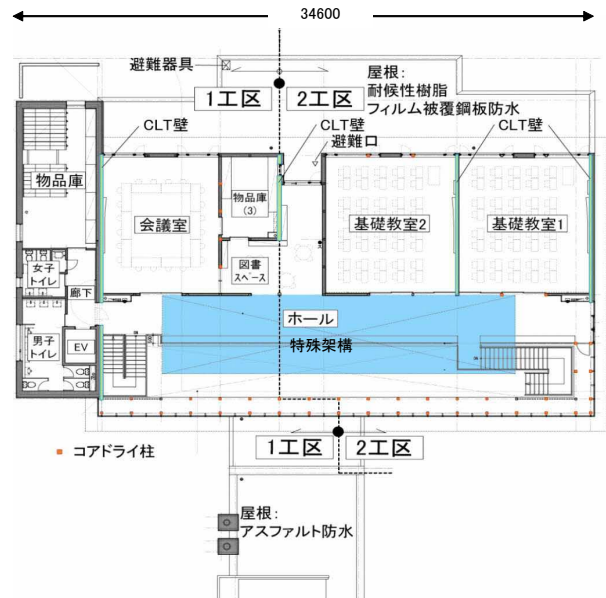
新校舎については、道産木材をふんだんに使用するとともに、教室や実習室をガラス張りとし、開放感のある学習環境となるよう整備（R3年4月供用開始予定）。



【新校舎イメージ（R3年4月供用開始予定）】



【1階平面図】



【2階平面図】



【1階実習室イメージ図：CLT特殊架構による大空間】



【2階ホールイメージ図：特殊架構と南面採光の高窓】

【スケジュール】

区分	R元年度	R2年度											
	～3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新校舎	→												
外構（実習場等）	→												
落成式													→

6 今後の主なスケジュール

R2年7月～	道内高校説明会、学校説明会
8月～	オープンキャンパス、PRキャラバン（北見、帯広、札幌、東京など）
10月～	入学願書受付（推薦、第1回）、推薦入学試験
11月～	入学願書受付（第1回）
12月～1月	入学願書受付（第2回）
R3年1月～	入学願書受付（第2回）
2月～	入学願書受付（第3回）
3月	入学願書受付（第3回）、新校舎落成式